

2020年度 事業報告書

2020年4月1日～2021年3月31日

I	2020年度事業報告 事業の体系図	1
II	2020年度事業報告一覧	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

本部



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 2020年度事業報告一覧

受賞	第1回日本博物館協会賞	日本博物館協会(東京)が今年新設した「日本博物館協会賞」の第1回の受賞館に選ばれた。当館の受賞理由として、いわさきちひろの原画コレクションを中核として、博物館活動のなかでその重要性を広める世界でも先駆的な活動を展開していること。また、長野県・松川村営の安曇野ちひろ公園内に安曇野ちひろ美術館を併設し、世界の絵本原画も積極的に紹介し、国際的な活動とともに子どもたちが美術館に親しめる事業に積極的に取り組むことで、地域振興にも貢献していることなどが評価された。
----	-------------	--

事業	個別事業名	実施内容	実績	実施時期(実施日・回数等)	実施場所
----	-------	------	----	---------------	------

公1 絵本美術館の設置運営

ア 絵本等に関する展覧会、講演会、ギャラリートーク等の開催

※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ちひろ美術館・東京は2020年3/4～3/15、3/28～6/19及び2021年1/1～1/31に、安曇野ちひろ美術館は2020年4/18～6/26に臨時休館し、一部事業を延期または中止した。

■ちひろ美術館・東京での展覧会、講演会、ギャラリートーク等					
いわさきちひろ展	いわさきちひろ 子どものしあわせ—12年の軌跡	ちひろは雑誌「子どものしあわせ」の表紙絵を1963年から没する1974年までの12年間、毎月1冊のペースで描き続け、その数は約150点におよぶ。本展では「子どものしあわせ」の表紙絵の最初の作品から絶筆までを、グラフィックデザイナーとしての一面も見える雑誌の表紙とあわせて紹介した。	6,145名	3月1日～3月3日 3月20日～3月27日 6月20日～10月11日	ちひろ美術館・東京
	ちひろの花鳥風月	2021年に延期		5月21日～8月2日	ちひろ美術館・東京
	こんにちは!『窓ぎわのトットちゃん』	中止		8月6日～10月25日	ちひろ美術館・東京
	子どものころを見つめて いわさきちひろ展	世界中で子どもたちを取り巻く環境は急速に変化してきた。とりわけ日本では、技術の進歩や物質的な豊かさが喧伝される一方で、子どもの貧困や虐待など、子どもをめぐる深刻な状況や事件が伝えられない日はない。本展では、ちひろの絵とことばを通して、ちひろが願った子どものしあわせと平和を見つめ直した。	3,653名	10月17日～12月27日	ちひろ美術館・東京
世界の絵本画家コレクションの展示	ちひろ美術館コレクション 日本の絵本の歩み 絵巻から絵本へ	中止		8月6日～10月25日	ちひろ美術館・東京
	ちひろ美術館コレクション展 絵本の世界を飛び出して	絵本作家として世界的に知られる5人、クヴィエタ・パツオウスカー、荒井良二、ピンバ・ランドマン、ユゼフ・ヴィルコン、エフゲーニー・ラチョフの絵本原画を、立体作品とあわせて展示し、絵本制作にとどまらない自由な創作活動を紹介した。	(3,653名)	10月17日～12月27日	ちひろ美術館・東京
企画展示	没後10年 瀬川康男 坦雲亭日乗—絵と物語の間(あわい)	絵本界の鬼才と呼ばれた画家・瀬川康男。1977年、東京から北軽井沢へ、その後長野県青木村に居を移し、「坦雲亭」と名付けたこの家で制作をする傍ら、「坦雲亭日乗」と題した日記を書き始めた。本展では、日記等に書かれたことばを手がかりに、絵本原画やタブローなどを展示し、瀬川の絵にかけた思いと人生に迫った。	(6,145名)	3月1日～3月3日 3月20日～3月27日 6月20日～10月11日	ちひろ美術館・東京
	生誕110年 赤羽末吉展 絵本への一本道	2021年に延期		5月21日～8月2日	ちひろ美術館・東京
講演会	「瀬川康男 坦雲亭日乗—絵と物語の間」関連イベント 編集者が語る—坦雲亭で生まれた絵本	中止		展覧会開催期間内	ちひろ美術館・東京
	「生誕110年 赤羽末吉展 絵本への一本道」関連講演会	2021年に延期		展覧会開催期間内	ちひろ美術館・東京
	「日本の絵本の歩み」展関連講演会	中止		展覧会開催期間内	ちひろ美術館・東京
ギャラリートーク	松本猛ギャラリートーク	中止		12月15日	両館
	夏休み子どもギャラリートーク	中止		8月10日	ちひろ美術館・東京
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	臨時休館および感染拡大防止のため中止		毎月第1、3土曜日	ちひろ美術館・東京

■安曇野ちひろ美術館での展覧会、講演会、ギャラリートーク等

いわさきちひろ展	ちひろ いのちを見つめて	生涯子どもを描き続けたちひろは、平和な日常のなかで輝くいのちを見つめ続け、絵を通して、その尊さを訴えかけている。「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」というちひろが残したこのことばは、今も切実に響く。本展では、ちひろの絵とことばを通して、ちひろが願った子どものしあわせと平和を見つめ直した。	18,698名	3月1日～4月17日 6月27日～8月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ 色のない色	「赤いと思えば赤く塗るし、紫だと思えば紫をつけた。空を黄色くすることもあれば、水を桃色に描いたりもする」と語っていたちひろは、目に見える通りに描くのではなく、心で感じた色を使って自由に描いた。本展では、ちひろの色に焦点をあて、ちひろの絵の魅力を紹介した。	23,111名	9月4日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ 子どもとあそび	2021年に延期		7月23日～10月5日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの雪月風花	中止		10月9日～12月15日	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実績	実施時期(実施日・回数等)	実施場所
いわさきちひろ展	ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像、ちひろの技法を拡大して見られるタッチパネル等により、ちひろの絵と人生、その人柄を伝えた。		通年	安曇野ちひろ美術館
	子どもの展示室「トットちゃんの部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部再現や、ちひろの絵で楽しむトットちゃんの物語、トモエ学園の紹介など、トットちゃんの世界を子どもたちの目線で楽しむことのできる展示を行った。		通年	安曇野ちひろ美術館
世界の絵本画家コレクションの展示	ちひろ美術館コレクション ねずみとはりねずみの絵本展	2020年の干支であるねずみに注目し、コレクションのなかから世界の絵本画家たちが描いたねずみとはりねずみの作品を展示した。	(18,698名)	3月1日～4月17日 6月27日～8月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション ふしぎな生き物展	コレクションのなかから竜や河童などの伝説の生き物や、画家の想像力から生まれた魅力的な生き物などを描いた作品を紹介した。	(23,111名)	9月4日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション あそびの世界	2021年に延期		7月23日～10月5日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクションに見る雪・月・風・花	2021年に延期		10月9日～12月15日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション チェコとスロヴァキアの絵本	中止		10月9日～12月15日	安曇野ちひろ美術館
絵本の歴史展示	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分けて、紹介した。		通年	安曇野ちひろ美術館
企画展示	企画展 田島征三展 『ふきまんぶく』—それから、そして、今—	絵本『ふきまんぶく』を起点とし、日の出町のゴミ処分場建設反対運動の活動をもとに制作された『やまからにげてきた・ゴミをばいばい』、日・中・韓平和絵本『ぼくのこえがきこえますか』、制作中だった絵本『つかまえた』の原画やダブローを展示し、今年80歳を迎える田島征三の「それから、そして今」を紹介した。	3,578名	3月1日～4月17日	安曇野ちひろ美術館
	企画展 ショーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ	文字のない絵本『アライバル』で世界中から親しまれているオーストラリアの作家、ショーン・タン。本展では、タンの全面的な協力のもと、絵本原画だけでなく、映像や立体作品も含めその幅広い仕事を紹介した。	15,120名	6月27日～8月30日	安曇野ちひろ美術館
	企画展 田島征三展 『ふきまんぶく』—それから、そして、これから—	コロナ禍による臨時休館で会期半ばで終了したため、「田島征三展 『ふきまんぶく』—それから、そして、今—」に、田島の「これから」の視点を加え、秋に新たな展覧会として開催した。	(23,111名)	9月4日～11月30日	安曇野ちひろ美術館
	企画展 田島征彦『祇園祭』展	2021年に延期		7月23日～10月5日	安曇野ちひろ美術館
講演会	企画展「田島征三展『ふきまんぶく』—それから、そして、今—」関連 田島征三 アーティストトーク	臨時休館により中止		展覧会開催期間内	安曇野ちひろ美術館
	企画展「田島征三展『ふきまんぶく』—それから、そして、これから—」関連 田島征三 & ふき 親子による『ふきまんぶく』トークライブ	企画展「田島征三展『ふきまんぶく』—それから、そして、これから—」に関連し、田島征三と娘の大澤ふきが、『ふきまんぶく』制作のエピソードや当時の暮らし、作品への思いなどを語った。二部では、大澤ふきによる沖縄民謡のライブを行い、後日、録画配信を行った(松川村図書館と共催)。	128名	10月5日	松川村 すずの音ホール
	企画展「ショーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ」関連 スライドトーク	中止		展覧会開催期間内	安曇野ちひろ美術館
	田島征彦 アーティストトークと読み聞かせ	2021年に延期		展覧会開催期間内	安曇野ちひろ美術館
ギャラリートーク	松本猛ギャラリートーク	中止		12月15日	両館
	ガイドツアー	中止		随時	安曇野ちひろ美術館
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	臨時休館および感染拡大防止のため中止		毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク(オンライン)	秋に開催した各展示の見どころ等を、作品画像や展示室での風景をまぜながら展示担当者による短い解説動画を録画、Youtubeにて配信した。(ちひろ展4本、コレクション展1本、田島征三展6本)		発信日:9月28日～12月21日(配信継続中)	安曇野ちひろ美術館(オンライン)

■他館と提携する展覧会、講演会、ギャラリートーク等

展覧会	いわさきちひろ展—中谷泰を師として	2022年に延期		7月18日～8月30日	三重県立美術館(三重県津市)
	静岡市美術館開館10周年記念 生誕110年・没後30年 絵本画家・赤羽末吉展 『スーホの白い馬』はこうして生まれた	22歳からの15年間を旧満州(中国東北部)で暮らした赤羽末吉。本展では1943年の内蒙古取材時の写真やスケッチ、資料などから『スーホの白い馬』誕生の軌跡を探るとともに、絵本原画やデビュー以前に描かれた作品約300点を通して赤羽の画業の全体像を紹介した。	16,196名	10月3日～11月29日	静岡市美術館(静岡県静岡市)

事業	個別事業名	実施内容	実績	実施時期(実施日・回数等)	実施場所
展覧会	ピエゾグラフィ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフィによるいわさきちひろ展を、開催希望自治体、団体、施設と協力して行った。	計3,306名	①3月20日～6月8日 (4/11～5/20臨時休館) ②6月19日～9月7日 ③9月18日～11月30日 ④12月11日～2021年3月1日 (1/8～1/11臨時休館)	「ちひろの生まれた家」記念館(福井県越前市)
			2会期とも中止	①9月5日～10月11日/ ②第2会期予定	MIZKAN MUSEUM(愛知県半田市)
			5,002名	2021年1月30日～3月14日	酒田市美術館(山形県酒田市)
	生誕110年 赤羽末吉展 スーホの草原にかける虹	2021年に延期		5月23日～7月19日	教文館ウエンライトホール(東京都中央区)
	絵本原画ニヤ展 猫が歩く絵本の世界	瀬川康男 『ふたり』原画5点を展覧した。	3,369名	4月18日～4月21日 5月12日～6月14日	高松市美術館(香川県高松市)
	わたしの湯のみ展	いわさきちひろの遺品の湯のみを1点展覧した。	4,297名	10月1日～12月13日	福井県陶芸館(福井県丹生郡越前町)
	村上康成の世界展	村上康成 『ようこそ森へ』原画3点『ピンク、べっこん』原画4点『なつのいけ』原画2点を展覧した。	8,679名	10月3日～11月15日	刈谷市美術館(愛知県刈谷市)
第74回日本アンデパンダン展 企画展示「日本アンデパンダン展と女性作家たち」	いわさきちひろ 『戦火のなかの子どもたち』ピエゾグラフィ作品2点を展覧した。	7,500名	2021年3月19日～3月29日	国立新美術館(東京都港区)	

イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	いわさきちひろの作品5点(寄贈)、赤羽末吉作品2点(寄贈)、田島征三作品31点(寄託)、田畑精一作品3点(購入)、初山滋作品31点(購入)、ショーン・タン作品2点(寄贈)を、新規に収蔵した。		通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	辻村益朗氏所蔵の本の歴史資料、原書など貴重書の寄贈を新たに約500冊受けた(一部購入)。		通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持つ、魅力的な絵本の収集を進めた。		通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	新型コロナウイルスの感染拡大による会期延長や、換気の必要に伴い、会期の途中で原画をピエゾグラフィに入れ替えるなど、ピエゾグラフィを活用し、原画の安全確保に努めた。また休館を利用して虫害調査を実施、虫の導線を塞ぐ処置をした。		通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブ	いわさきちひろと世界の絵本画家の作品・資料のデジタル・アーカイブを右記の点数行った。またピエゾグラフィの保存のための意義と制作の工程を紹介するパネルや映像を作成した。	・ちひろ作品(ピエゾグラフィ制作3点・データバックアップ1102点) ・コレクション作品(ピエゾグラフィ制作14点・データ納品80点)	通年	両館
	作品・資料の修復	いわさきちひろ作品や世界の絵本画家の作品、資料の修復作業を適宜行った。		随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進めた。特に展覧会にあわせて田島征三へのインタビュー映像を制作して放映したり、静岡市美術館と協力し赤羽末吉の調査を深めた。		通年	両館
	財団資料全般のアーカイブ	いわさきちひろの作品や遺品などの一次資料、一次資料を基に製作された印刷物等の二次資料、その一次・二次資料にまつわる資料等を網羅的に集約、管理するためのアーカイブ、ならびに検索システムの構築を3年計画で進めるための調査を行った。2020年度は、作品、図書、遺品等を新しいDBシステムへ移行し、さらにデータ整備を進めた。		2019～2021年度	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	両館で開催する展覧会に向けて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進めた。		通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について調査・研究を進めた。特にショーン・タンや瀬川康男の展覧会を昨年に続けて開催し、研究を深めた。		通年	両館
	研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈	開催予定であった赤羽末吉展にあわせて赤羽の作品を紹介する書籍を出版、また静岡市美術館とともに赤羽の画集を制作した。また、それら図録等は、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈し、研究の一助としてもらった。		通年	両館

事業	個別事業名	実施内容	実績	実施時期(実施日・回数等)	実施場所
作品・資料の調査・研究	研究成果の公開 公式ウェブサイトでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、公式ウェブサイトへアップロードし、国内外にむけて発信した。		通年	両館
	研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年3回)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめる「美術館だより」を、両館合併号として年3回発行し、公式サイトにも公開した。	両館合併号として年3回の発行	通年	両館

ウ 絵本等に関する教育活動

ワークショップ・講座の開催	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	臨時休館および感染拡大防止のため中止		8月5～7日、2020年1月2～3日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会をオンラインで開催した(講師:服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)。*実施予定4回の内、1回実施、3回中止 *文化庁:令和2年度地域と共働した博物館創造活動支援事業	計18名	12月12日	ちひろ美術館・東京(オンライン)
	あかちゃんのための鑑賞会	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、あかちゃんのための鑑賞会をオンラインで開催した(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。*文化庁:平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業	計16名	12月20日	ちひろ美術館・東京(オンライン)
	子どものための鑑賞会	3歳児以上の子どもとその保護者を対象にした、幼児～児童のための鑑賞会をオンラインで開催した(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。*文化庁:平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業	計16名	12月20日	ちひろ美術館・東京(オンライン)
	子どもの幸せと平和を考える講座 親業講演会「—今日から実践できる— 子どもに気持ち伝わる話し方」	中止			ちひろ美術館・東京
	企画展「田島征三展『ふきまんぶく』—それから、そして、これから—」関連 映画『絵の中のぼくの村』上映会	企画展「田島征三展『ふきまんぶく』—それから、そして、これから—」に関連し、田島征三の原点ともいえる、幼少期の思い出が綴られた本『絵の中のぼくの村』を原作とした映画(国際ベルリン賞銀熊賞受賞)を上映した。	計35名	9月13日、11月8日	安曇野ちひろ美術館
	あかちゃんと保護者のための鑑賞会「ファーストミュージアムデー」	中止			安曇野ちひろ美術館
	文化庁 博物館学芸員専門講座での講演	全国の博物館・美術館の指導的立場にある学芸員50名を対象に、当館の理念と活動を紹介し、求められる地域と連携した博物館のあり方について、講演を行った。	65名	12月9日	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター(オンライン)
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』ワークショップ	安曇野ちひろ公園トットちゃん広場と安曇野ちひろ美術館館内において、ちひろの絵が数多く掲載されている『窓ぎわのトットちゃん』のさまざまなエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の人々の協力を得て、開催した。		随時	安曇野ちひろ公園・安曇野ちひろ美術館
	ちひろ忌	いわさきちひろの命日にあわせて、ちひろの業績や人生を伝えるとともに、世界中の子どもの幸せと平和を願ったちひろの思いを、来館者と共に考える機会とした。	94名 333名	8月8日	ちひろ美術館・東京 安曇野ちひろ美術館
いわさきちひろの誕生日	いわさきちひろの誕生日にあわせて、ちひろの業績や人生を伝えるとともに、世界中の子どもの幸せと平和を願ったちひろの思いを、来館者と共に考える機会とした。	51名	12月15日	ちひろ美術館・東京	
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	中止			安曇野ちひろ美術館
	出前講座	いわさきちひろやちひろの絵の魅力を伝え、その技法を体験するワークショップを含めた出前講座を、学校等に出向いて実施した。なお、安曇野館では、感染拡大防止のため中止した。	計3回・90名	10月23、26、30日	杉並区立三谷小学校 安曇野ちひろ美術館
	学校団体への各種教育プログラム	授業で来館した学校に対し、開催中の展覧会の鑑賞教育プログラムを行った。	計2回・60名	10月1日・11月24日	安曇野ちひろ美術館
			計1回・69名	12月1日	ちひろ美術館・東京
	スクールミュージアム	長野県内の希望校を対象に、複製画等の貸し出しを行い、鑑賞教育の機会とした。	2校	9月25日～10月2日	南木曾中学校(木曾郡南木曾町)
				10月9日	花田養護学校(諏訪郡下諏訪町)
	大学での講義	静岡大学教育学部開講科目「生涯学習概論Ⅱ」における「博物館の機能と役割」の単元で、ちひろ美術館について、オンラインでの講義を行った。	70名	11月26日	静岡大学(オンライン)
	教員向け内見会・内見週間の開催	中止			両館
	職場体験実習の受入	中止			両館
学芸員実習、インターンシップ生の受入	中止			両館	
教員研修の受入	中止			ちひろ美術館・東京	

事業	個別事業名	実施内容	実績	実施時期(実施日・回数等)	実施場所
----	-------	------	----	---------------	------

エ 絵本等に関する普及活動

絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供した。		通年	両館
絵本等の紹介活動	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、HP等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選べばよいのか、どのように読めばよいのか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスをし、日々の暮らしの中で身近に絵本を楽しめるよう支援を行った。		通年	両館
	オンラインツアーの開催	新型コロナウイルスの感染拡大の影響による文化芸術活動の今後の収益化事業のモデルを探るために、オンラインツアーに取り組んだ。*文化庁 令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」	22名	2021年2月13日	両館(オンライン)
	アーカイブ動画の製作と有料配信	新型コロナウイルスの感染拡大の影響による文化芸術活動の今後の収益化事業のモデルを探るために、アーカイブ動画の製作と販売に取り組んだ。*文化庁 令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」	提供回数4回	2021年2月10日～3月31日	両館(オンライン)
	『子どもにつたえる日本国憲法』の動画製作と配信	新型コロナウイルスの感染拡大にともない、オンラインでの普及活動として『子どもにつたえる日本国憲法』の朗読動画を製作し配信した。		10月16日～配信継続中	両館(オンライン)
読み聞かせ会	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、絵本の読み聞かせ会を開催した。	計1回 9名	毎月第2、4土曜日(ただし、臨時休館および感染拡大防止のため、左記以外の日程は中止)	ちひろ美術館・東京
			計7回 157名	毎月第2、4土曜日(ただし、臨時休館および感染拡大防止のため、4月～9月は中止)	安曇野ちひろ美術館
	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)絵本の広場等の開催	国営アルプスあづみの公園のおはなしシアターに出向き、読み聞かせの会を開催した。	計2回・131名	2021年3月6日、3月14日	国営アルプスあづみの公園(長野県安曇野市)
地域・団体との提携による複製画展	希望する施設・団体・学校との提携による、平和のパネル展の開催	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出した。	1,451名	7月18日～8月30日	西尾市立一式学びの館(愛知県西尾市)
			757名	7月21日～7月26日	兵庫県伊丹市国際・平和課(兵庫県伊丹市)
				8月4日～8月7日	鳥取平和行進実行委員会(鳥取県)
			約2,000名	1月13日～2月9日	中野区平和資料展示室(東京都中野区)
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの実施	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設けた。		随時	東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター内子どもホスピス「もみじの家」、長野県立こども病院・富山県リハビリテーション病院こども支援センター

オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ	インドネシア等アジアにおける『窓ぎわのトットちゃん』を媒体とした展覧会や普及事業	中止			インドネシア他
	Best in Heritage のオンライン大会でのプレゼンテーション(インタビュー)	当館の日本博物館協会賞の受賞を受け、ICOM(国際博物館協会)の提携機関である、クロアチアのBest in Heritage のオンライン版世界大会のために、日本からの参加者としてプレゼンテーションを行うとともに、世界大会の冊子のために当館の紹介を執筆した。		9月～配信継続中	クロアチア(オンライン)
	韓国におけるオンライン展覧会の開催	韓国の国際交流基金・ソウル日本文化センターと共同で、2017年に同地で開催した「いわさきちひろ(ピエゾグラフ)展」を、オンライン展示として開催した	再生回数4,751回	10月7日～11月30日	韓国(オンライン)
海外からの研修受入と交流	海外の絵本関係者の研修・交流	中止			両館
	アジアや世界の絵本関係者の視察・調査等の受入	中止			両館
	館内情報の多言語化	さまざまな国からの来館者に対応すべく、館や展示の紹介等を多言語(7言語)で行った。		随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実績	実施時期(実施日・回数等)	実施場所
海外の関係機関とのネットワーク	絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動	絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY(International Board on Books for Young People)や、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会、全国絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、絵本文化の発展のための相互協力に努めた。		随時	両館
	絵本美術館ネットワーク設立のための情報収集	国を超えた絵本美術館ネットワークづくりのために、調査を行い、情報交換を行った。		随時	両館
	アジア子どものコンテンツフェスティバル(AFCC)との連携	毎年シンガポールで開催されるAFCC(Asian Festival of Children's Contents)の要請を受け、2019年1月から2020年1月の間、着目すべき日本の絵本作家10人とその絵本を選考し、他の6か国とともにオンライン展覧会を開催、ラウンドテーブルに参加して、日本の絵本の近況と魅力を伝えた。あわせて、同ブックカウンシルが編纂するアジア7か国の昔話集の編纂に参画し、日本からは初山滋の『一寸法師』(1929)を掲載した。		6月/10月 (配信継続中)	シンガポール(オンライン)
	海外の図書館等へちひろや日本の絵本画家の絵本の普及	中止		随時	両館

カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家からの問い合わせに応え、レファレンス等を行った。		随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを吟味した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を提供し、その活用をもって研究活動を支援した。		随時	両館
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、館内配布やWEB配信をするとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して作品鑑賞を手助けする活動を行った。		随時	両館
	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ等への支援	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に絵本の紹介や、読み聞かせの方法等について指導を行った。		随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活のなかで日常的に絵本が楽しめるよう支援した。		随時	両館
	展覧会鑑賞のバリアフリー化	東京館では、2019年に導入したデジタルガイドのコンテンツを活用し、視覚・聴覚障害の方々には、スマートフォンからの音声や文字情報による解説を提供し、利用者のニーズに応えた。外出自粛期間中でも世界中から当館を楽しんでもらえるよう、同コンテンツを「おうちで楽しむちひろ美術館」として公式ウェブサイト上に公開した。両館ともに、障害者手帳提示の方と介添え1名までは入館料を無料とするなど、様々なニーズを持つ来館者の展覧会鑑賞を支援するためのバリアフリー化を進めた。		随時	両館
地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体等と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	松川村保健センターと協力し、絵本の出会い事業として、同村の新生児とその保護者を対象にファーストブックを贈呈し、絵本の選び方や読み聞かせ等についてアドバイスを行った。	計54名	年6回	安曇野ちひろ美術館/松川村保健センター

その他					
被災地支援	災害支援の取り組み	東日本大震災の被災証明を提示した来館者は全員無料とした。	東京館 2名 安曇野館 2名	通年	両館
		館内の来館者に対し、台風19号災害等日本各地での被災地支援の義援金を呼びかけた。		通年	安曇野ちひろ美術館
無料入館日	高校生以下無料	子どもたちがいつでも訪れることができる場所として、2005年以降行ってきている高校生以下無料入館の対応を、引き続き行った。	東京館1,507名 安曇野館5,137名 計6,644名	通年	両館
		美術館が人々にとって、魅力的で楽しい場所となるよう、受け入れを工夫し、美術館が社会に果たす役割を高め、より広範の人々にアピールする好機として、右記の通り、両館で無料入館日を設けた。	65歳以上の方対象 東京館 33名 安曇野館 135名	9月21日(敬老の日)	両館
			計1,570名	長野県:11月15日、2021年3月21日	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実績	実施時期(実施日・回数等)	実施場所
無料入館日	無料入館日の取り組み	美術館が人々にとって、魅力的で楽しい場所となるよう、受け入れを工夫し、美術館が社会に果たす役割を高め、より広範の人々にアピールする好機として、右記の通り、両館で無料入館日を設けた。 なお安曇野館で予定していた国際博物館の日(5月18日)と近隣市町村ごとの無料入館日は、感染拡大防止のため中止とした		5月18日(国際博物館の日) 6月9日(池田町・生坂村)、6月16日(大町市)、6月23日(松本市)、11月10日(安曇野市)、11月17日(白馬村・小谷村)	安曇野ちひろ美術館
支援会員制度等	支援会員(寄付会員)制度等、寄付の取り組み	当財団およびちひろ美術館(東京・安曇野)の理念を積極的に伝え、世界的にも散逸しやすい絵本原画の収集・保存・研究・展示公開、並びに、絵本の普及や国内外での絵本文化支援活動を支えていただく寄付を呼びかけ、支援会員制度他の寄付を受けた。	支援会員数600名(新規110名・継続490名)	通年	両館

収1

その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行った。		通年	両館
-------------------------	---------------	---	--	----	----

■2020年度事業報告 入館者数一覧

1.絵本美術館の設置運営

2020年度の入館者数は、ちひろ美術館・東京 10,050名、安曇野ちひろ美術館 42,322名、両館合計で52,372名となった。

■ちひろ美術館・東京

2020年4月～2021年3月 入館者数内訳(月別)

月	開館日数	有料入館者数		無料入館者数						全入館者数	1日平均入館者数
		大人	小計	中高生	小学生	幼児	支援会員	招待者 その他無料	小計		
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0						0	0	0
6	9	351	351	3	12	41	5	34	95	446	50
7	27	775	775	10	38	118	7	125	298	1,073	40
8	26	1,243	1,243	66	105	184	7	148	510	1,753	67
9	26	1,151	1,151	11	49	137	10	196	403	1,554	60
10	23	1,274	1,274	10	42	143	14	175	384	1,658	72
11	25	1,247	1,247	17	49	113	13	167	359	1,606	64
12	24	735	735	19	96	86	11	165	377	1,112	46
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	14	608	608	15	44	99	8	74	240	848	61
合計	174	7,384	7,384	151	435	921	75	1,084	2,666	10,050	58
構成比		73.5%	73.5%	1.5%	4.3%	9.2%	0.7%	10.8%	26.5%	100.0%	
前年合計		40,494	40,494	1,538	1,858	3,497	166	5,076	12,135	52,629	199
前年比		18.2%	18.2%	9.8%	23.4%	26.3%	45.2%	21.4%	22.0%	19.1%	29.0%

- * 2020年年度の入館者総数は10,050名(58名/日)。2019年度より42,579名減少(前年比29.0%)。目標数(40,000人)比29,950人マイナス、達成率25.1%。
- * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年4/1～6/19及び2021年1/1～1/31は臨時休館した。絵本カフェは、4/1～1/31まで休業、2021.3/16より再開した。
- * 臨時休館に伴い、2020年度の開館日数は174日。2019年度は264日(前年比66%)。
- * 入館者割合は、大人:中高生:小学生:幼児が、85:2:4:9(2019年度は87:3:3:7)。
- * 年間パスポート販売数は53枚(159,000円)。利用者数(リピーターを含む)は255名。
- * 「ぐるっとパス」入館者数は1,013名(2018年度3,484名、前年比29%)。
- * 外国人利用者は、年間で31名(前年1,001名、前年比3%)。

■安曇野ちひろ美術館

2020年4月～2021年3月 入館者数内訳(月別)

月	開館日数	有料入館者数		無料入館者数						全入館者数	1日平均入館者数	
		大人	小計	中高生	小学生	幼児	支援会員	その他無料	松川村招待者			小計
4	17	285	285	6	31	33	0	72	35	177	462	27
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	4	554	554	6	21	29	0	77	21	154	708	177
7	21	4,644	4,644	98	250	357	0	438	64	1,207	5,851	279
8	27	6,470	6,470	538	492	426	5	543	87	2,091	8,561	317
9	23	5,332	5,332	143	240	345	1	579	51	1,359	6,691	291
10	27	6,884	6,884	150	284	265	20	596	91	1,406	8,290	307
11	26	5,903	5,903	72	442	358	4	1,262	89	2,227	8,130	313
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	12	2,154	2,154	155	180	216	3	838	83	1,475	3,629	302
合計	157	32,226	32,226	1,168	1,940	2,029	33	4,405	521	10,096	42,322	270
構成比		76.1%	76.1%	2.8%	4.6%	4.8%	0.1%	10.4%	1.2%	23.9%	100.0%	
前年合計		89,652	89,652	2,781	4,946	5,192	67	10,417	2,071	25,474	115,126	516
前年比		35.9%	35.9%	42.0%	39.2%	39.1%	49.3%	42.3%	25.2%	39.6%	36.8%	52.2%

- * 2020年度の入館者総数は42,322名(270名/日)。2019年度比72,804名減(前年比52.2%)、目標数(120,000名)比77,678名減、達成率35.3%。
- * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年4/18～6/26は臨時休館した。絵本カフェは、2020年4/11～11/30まで休業、2021年3/1より再開した。当初は、毎月第4水曜日を休館日とし、12/15まで開館予定だったが、毎週水曜日を休館日とし、12/1から冬期休館とした。
- * 臨時休館に伴い、2020年度の開館日数は157日。2019年度は273日(前年比58%)。
- * 入館者割合は、大人:中高生:小学生:幼児が88:3:4:5(2019年度は89:2:4:5)。
- * 年間パスポートの販売数は47枚(141,000円)、利用者数(リピーターを含む)は187名。
- * 団体入館者数は、2,890名(2019年度は20,827名・前年比14%)。入館者全体に占める団体割合は6.8%(2019年度は18%)。内、台湾や韓国など海外からの来館者は0名。(2019年度は823名)。

■2020年度 事業報告書の附属明細書

当財団の事業報告書については、附属明細書に該当する事項がないため、附属明細書を省略する。